



自主創造  
日本大学  
NIHON UNIVERSITY

あなたとともに  
100万人の仲間とともに

# 平成31年度 工学部開講式

## 自校教育

4月1日



College of Engineering, Nihon University  
日本大学工学部



自主創造  
日本大学  
NIHON UNIVERSITY

あなたとともに  
100万人の仲間とともに

# 日本大学

そして

# 日本大学工学部



College of Engineering, Nihon University

日本大学工学部

ロハスの工学部

# 日本大学

明治22年（1889年）

日本法律学校として創立

学祖：山田 顕義（やまだ あきよし）

初代司法大臣



吉田松陰の門下生

山田顕義（1844年8月18日～1892年11月11日）

坂本龍馬（1836年1月3日～1867年12月10日）



自主創造  
日本大学  
NIHON UNIVERSITY

あなたとともに  
100万人の仲間とともに

ロハスの工学部



吉田松陰が市之允(のちの顕義)に与えた教訓

# 山田顕義が吉田松陰から 贈られた扇面



自主創造  
日本大学  
NIHON UNIVERSITY

あなたとともに  
100万人の仲間とともに

ロハスの工学部

山田顕義は、明治23年に公布された民法，商法などの編典責任者。

国民を指導する法律専門の学徒を養成することが、法治国家として必要不可欠であるということから、**日本法律学校（日本大学）**を創立。



自主創造  
**日本大学**  
NIHON UNIVERSITY

あなたとともに  
100万人の仲間とともに

□ハスの工学部

# 日本大学の目的及び使命

- ① 日本大学は，日本精神にもとづき，道統をたつとび，憲章にしたがい，自主創造の気風をやしなひ文化の進展をはかり
- ② 世界の平和と人類の福祉とに寄与することを目的とする  
日本大学は広く知識を世界にもとめて深遠な学術を研究し，
- ③ 心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする



# 日本大学の教育理念

## —自主創造—

日本人としての主体性を認識し，その上でグローバル化に対応できる世界的視野で物事を捉え，それぞれが学ぶ領域や活動体験を生かし「自主創造」の気風に満ちた人材の育成を目指します。



# 日本大学教育憲章

日本大学は、本学の「**目的及び使命**」を理解し、本学の教育理念である「**自主創造**」を構成する「**自ら学ぶ**」、「**自ら考える**」及び「**自ら道をひらく**」**能力**を身につけ、「**日本大学マインド**」を有する者を育成する。

## 日本大学マインド

- **日本の特質を理解し伝える力**  
日本文化に基づく日本人の気質、感性及び価値観を身につけ、その特質を自ら発信することができる。
- **多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力**  
異文化及び異分野の多様な価値を受容し、地域社会、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を認識し、説明することができる。
- **社会に貢献する姿勢**  
社会に貢献する姿勢を持ち続けることができる。

# 「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

## 自ら学ぶ

### 豊かな知識・教養に基づく高い倫理観

豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。

### 世界の現状を理解し、説明する力

世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明することができる。



# 「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

## 自ら考える

### 論理的・批判的思考力

得られる情報を基に論理的な思考，批判的な思考をすることができる。

### 問題発見・解決力

事象を注意深く観察して問題を発見し，解決策を提案することができる。



# 「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

## 自ら道をひらく

### 挑戦力

あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。

### コミュニケーション力

他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。

### リーダーシップ・協働力

集団のなかで連携しながら、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。

### 省察力

謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。

# — 日本大学 —



自主創造  
日本大学  
NIHON UNIVERSITY

あなたとともに  
100万人の仲間とともに

平成31年10月4日 創立130周年

卒業生 約116万人（平成30年3月31日現在）

## — 工学部 —

昭和22年（1947年）開設：日本大学専門部工科を  
郡山に移転

昭和24年（1949年）→ 新制大学：第二工学部

昭和41年（1966年）→ 名称変更：工学部

平成29年度：70周年

工学研究科修了者：3,035名

工学部卒業生：60,577名  
(第二工学部を含む)

合計63,612名



College of Engineering, Nihon University

日本大学工学部

□ハスの工学部

# — 日本大学の学生数 —



自主創造  
日本大学  
NIHON UNIVERSITY

あなたとともに  
100万人の仲間とともに

平成30年5月1日現在

学 部：68,069 名

大学院：2,848 名

通信教育部・短期大学部・短大専攻科を含めた合計

合 計：**79,573**名

## — 工学部の学生数 —

平成30年5月1日現在

学 部：4,541名

大学院：204名

合 計：**4,745**名



College of Engineering, Nihon University

**日本大学工学部**

ロハスの工学部

# — 新入生の皆さんへの期待 —

## 工学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

1 基礎教育の徹底による，工学の基礎力修得。

①自主的に考察し判断できる発想力及び解析力の醸成。

2 工業技術が社会と環境に及ぼす影響の理解。

②高い倫理観をもって調和のとれた持続可能な社会の実現に貢献できる人間性豊かな技術者の養成。

③地球環境の保護と健康的な生活に工学の立場から寄与。

④その成果を社会と地域に還元。



College of Engineering, Nihon University

**日本大学工学部**

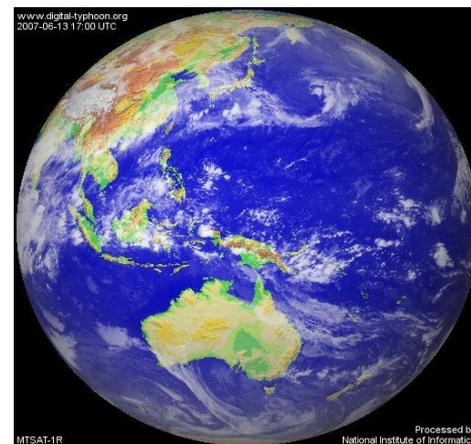
ロハスの工学部

# 日本大学工学部のキーワード

ロハスを目指した工学部の取組み

ロハスの工学

LOHAS (ロハス)



## Lifestyles of Health and Sustainability

健康と持続可能であることを考えた生活様式

(心と身体、地球にやさしいライフスタイル)

米国の社会学者ポール・レイ氏と心理学者シェリー・アンダーソン氏が提唱

工学部では

- 環境と健康をキーワードにした「ロハスの工学」を目指した研究を推進
- ロハスな教育環境の構築を推進

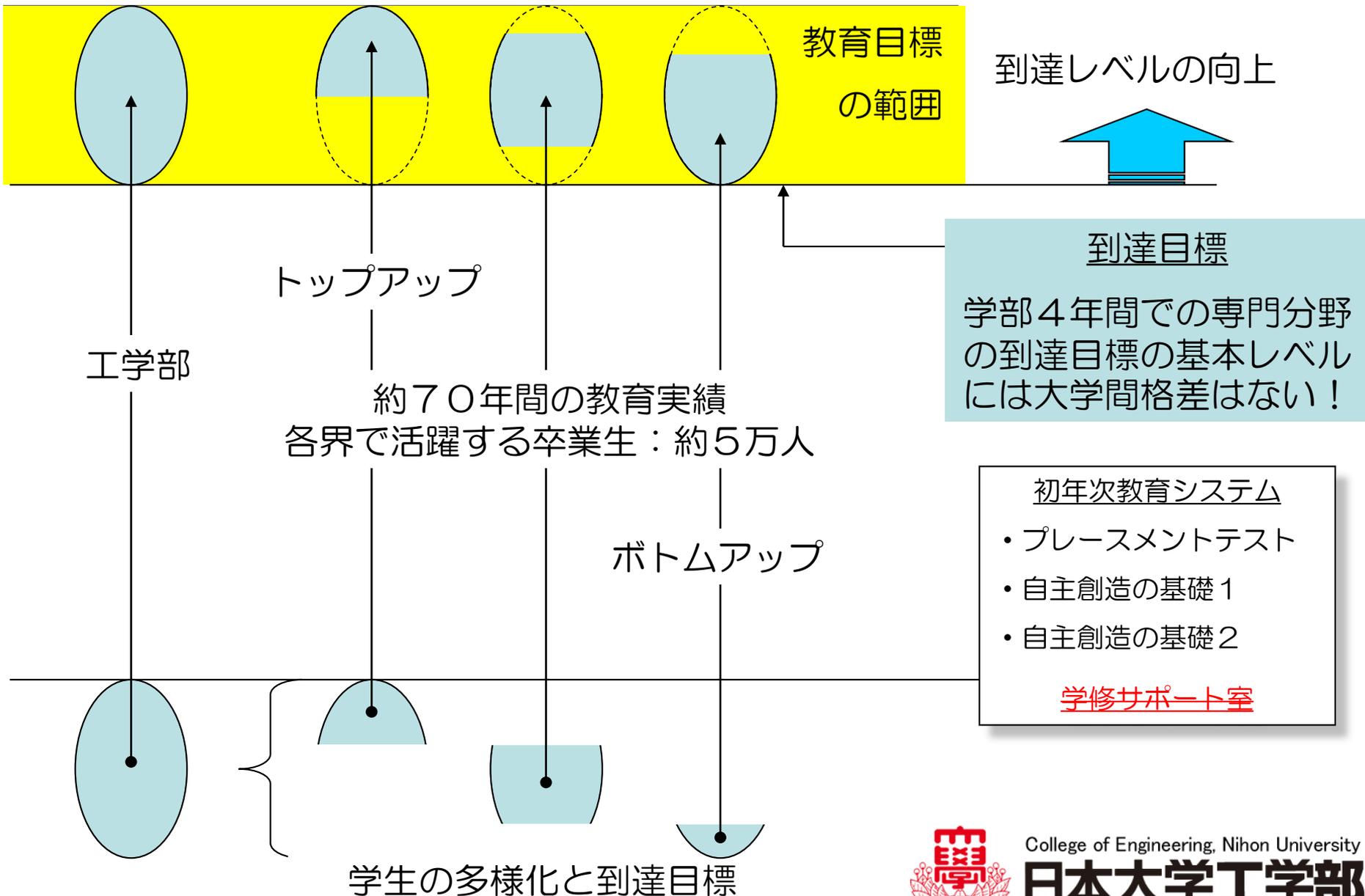


College of Engineering, Nihon University

日本大学工学部

ロハスの工学部

# 就職／大学院進学



College of Engineering, Nihon University

日本大学工学部

# —工学部を支える組織—

- 工学部後援会：2019年設立
- 工学部校友会：1958年設立，全国7支部  
北海道・関東・北陸・東海・東東海・四国・  
九州支部
- アカシア教育研究会：高等学校などの教員会員



College of Engineering, Nihon University

**日本大学工学部**

ロハスの工学部

# 桜の開花と夢の実現へ向けて

